

医療福祉秘書科 3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

医療福祉秘書科は、豊かな人間性を備え、診療報酬や社会福祉、医療秘書の分野において、最新の知識と技能を求めて学修するという探求心を持つ人材を育成することを目的とし、全学科共通のディプロマポリシーに示された諸能力並びに以下に掲げる知識・技能・資質を修得した学生に対して専門士(商業実務専門課程)の称号を授与します。

1 医療事務に必要な専門性

診療報酬や社会福祉に関する理解を深め、医療秘書の実践力を修得し、多様化する社会や医療及び福祉現場のニーズに応える力を有する人

2 問題解決能力

診療報酬や社会福祉に関する知識・技能を活かし、地域医療に関わる身近な問題を見出し、協調・協働しながら、それを解決へ導くための能力を有する人

3 コミュニケーション能力

多職種と連携を図り、医療へ貢献するチーム医療の一員として、他者と目的を共有し、それを解決に導くためのコミュニケーション能力を発揮することができる人

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医療福祉秘書科は、本校のカリキュラムポリシーに基づき、本学科の専門教育を以下のように編成します。

- 1 診療報酬請求や社会福祉に関するもの、医療秘書の専門知識と技能を身に付けるために、体系的かつ系統的に科目を配置します。
- 2 協調・協働しながら専門知識や技能を高め、問題解決方法を探求する能力を養うため、学生が主体的に専門性を高められる環境を整えます。
- 3 医療従事者としてのビジネスマナー、コミュニケーション能力を身に付けるためのキャリア教育及び、実習を通して即戦力を養う環境を整えます。

アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）

医療福祉秘書科は、医療従事者として、診療報酬や社会福祉、医療秘書の分野において、高い探求心を持つ人材を育成することを目的として、全学科共通のアドミッションポリシーに基づき、志願者に次のような能力を求めます。

- 1 医療秘書をはじめとする医療に従事する者についての高い専門性や技能を身に付けようと学業に励むことができる人
- 2 人の役に立てる人材を目指し、思いやりの心をもって人と接することができる人
- 3 高等学校等の教育における基礎的学力を備え、意欲をもって物事に取り組むことができる人